

6. 発表業績

(1) 学術誌等での発表

○学術誌での発表

- ・高津川漁協はなぜ産卵保護を強化したのか？：村山達朗・曾田一志・寺門弘悦、アユを育てる川仕事（古川彰、高橋勇夫編）、築地書館、2010、pp.64-71
- ・天然アユ資源はなぜ年変動を繰り返すのか：村山達朗、アユを育てる川仕事（古川彰、高橋勇夫編）、築地書館、2010、pp.165-174
- ・中海水域において定置網で採集された魚類とその季節変化：横尾俊博・水戸 鼓・岩崎健史・佐々木 正・道根 淳・荒西太士、陸水学雑誌 71,11-18 (2010)
- ・Large-scale transport of *Cochlodinium polykrikoides* blooms by the Tsushima Warm Current in the southwest Sea of Japan: Onitsuka G, Miyahara K, Hirose N, Watanabe S, Semura H, Hori R, Nishikawa T, Miyaji K, Yamaguchi M, *Harmful Algae*, 9 (2010) 390-397.

○学会・研究集会等での口頭発表

- ・浜原ダム下流域におけるアユの適正収容量の推定と産卵場・流下仔魚調査結果：寺門弘悦、第1回江の川の天然アユを増やすためのシンポジウム、みよしまちづくりセンター ペペラホール (2011.2)
- ・キアンコウの微胞子虫について：岡本 満、平成22年度西部日本海ブロック魚類防疫対策協議会（症例検討）(2010.10)
- ・魚醤油中のヒスタミンの定量：井岡 久、内田 浩、岡本 満、土佐典照、永瀬光俊、葛城隆継、平成22年度水産物利用関係研究開発推進会議利用加工技術部会研究会、40-41 (2010.11)
- ・近赤外分光法によるサワラ脂質含量の測定：内田 浩、平成22年度水産物利用関係研究開発推進会議利用加工技術部会研究会、66-67 (2010.11)
- ・島根県沖で漁獲されたサワラ若齢魚の成分特性：岡本 満、井岡 久、内田 浩、平成22年度水産物利用関係研究開発推進会議利用加工技術部会研究会、68-69 (2010.11)
- ・超音波及び近赤外線を用いたマフグの雌雄判別方法の検討：内田 浩、第58回日本海水産物利用担当者会議 水産物の利用に関する共同研究第51集、46-48 (2011.3)
- ・島根県の網漁業で漁獲されたマアジの鮮度：岡本 満、堀 玲子、井岡 久、内田 浩、藤川裕司、第58回日本海水産物利用担当者会議 水産物の利用に関する共同研究第51集、49-52 (2011.3)
- ・隠岐におけるイワガキの天然採苗技術の開発：開内 洋、西部日本海ブロック増養殖担当者会議報告書、資料配付 (2010.11)
- ・隠岐におけるイワガキの天然採苗技術の開発：吉田太輔、勢村 均、石田健次、開内 洋、浜口昌巳、平成22年度日本海ブロック水産業関係研究開発推進会議 海区水産業研究部会増養殖研究会講演要旨集、11-12 (2011.2)
- ・サルボウガイの人工種苗生産技術の開発：佐々木 正、勢村 均、平成22年度日本海ブロック水産業関係研究開発推進会議 海区水産業研究部会増養殖研究会講演要旨集、13-15 (2011.2)
- ・アカモク場造成試験、セイヨウハバノリ養殖試験：佐々木 正、平成22年度中国五県公設試験研究機関共同研究（藻場造成技術の確立・ガラモ場）担当者会議、資料配付 (2011.3)
- ・本の紹介：森脇晋平、水産海洋研究、74 (3)、p.192 (2010)

(2) 報道実績

日付	新聞社・報道局等	内 容	担当部署
H22. 4.14	みなと新聞	山陰沖4～9月漁況予報	海洋資源グループ
H22. 4.19	読売新聞	エチゼンクラゲ沖合通過被害少	海洋資源グループ
H22. 5.12	山陰中央新報	マアジ前年並み	海洋資源グループ
H22. 5.20	山陰中央新報	どんちっちアジどこへ行った	海洋資源グループ
H22. 5.20	中国新聞	豊穡の象徴再生に苦心（サルボウ）	浅海グループ
H22. 6. 1	みなと新聞	カタクチ平年の3.5倍、ウルメも6.9倍	海洋資源グループ
H22. 6. 9	中国新聞	秋アユ禁漁日数最大7倍に拡大、漁獲量激減の江の川	海洋資源グループ
H22. 6.14	中国新聞	江の川アユ再生へ模索	海洋資源グループ
H22. 6.23	島根日日新聞	神戸川下流のシジミ生息調査 密度低く、予備軍も少ない	内水面グループ
H22. 7. 1	浜田市報	科学的データに裏打ちされたおいしさの証明どんちっちアジ	利用化学グループ
H22. 7. 1	みなと新聞	島根県小型底曳網漁業'09年漁期の集計	海洋資源グループ
H22. 7. 1	山陰中央新報	栽培漁業の拠点センターが開所	栽培漁業グループ
H22. 7. 1	山陰中央新報	底引き網水揚げ額魚価低迷島根減少	海洋資源グループ
H22. 7. 7	水産経済新聞	21年漁期島根県底引網動向	海洋資源グループ
H22. 7. 8	山陰中央新報	どんちっちアジ回復	海洋資源グループ
H22. 7.16	水産経済新聞	マアジ幼魚、山陰への来遊が高水準	海洋資源グループ
H22. 7.23	山陰中央新報	高津川アユ資源回復か	内水面グループ
H22. 7.29	中国新聞	浜田の底引き網漁の総漁獲量は7.6%減の2994トン	海洋資源グループ
H22. 8. 5	山陰中央新報	中海水揚げ日本一復活を サルボウガイ稚貝放流	浅海グループ
H22. 8. 5	日本海新聞	よみがえれ赤貝、島根県水産技術センター稚貝放流始まる	浅海グループ
H22. 8. 5	中国新聞	サルボウ漁業の復活へ稚貝放流	浅海グループ
H22. 8. 5	毎日新聞	サルボウガイ復活を 松江江島港沖に稚貝放流	浅海グループ
H22. 8. 5	日本海テレビ	サルボウの稚貝放流	浅海グループ
H22. 8.14	山陰中央新聞	シジミ稚貝が半減 来年度以降に漁獲懸念	内水面グループ
H22. 8.16	中国新聞	宍道湖シジミ個体25.8%減	内水面グループ
H22. 8.21	読売新聞	すくすく育てサルボウガイ	浅海グループ
H22. 8.26	NHK	宍道湖のシジミが減少	内水面グループ
H22. 8.27	NHK	魚の活メ講習会	利用化学グループ
H22. 9. 1	島根日日新聞	大社湾のバイ貝回復	海洋資源グループ
H22. 9. 7	山陰中央新聞	秋シーズン エチゼンクラゲ禍ない？	海洋資源グループ
H22. 9. 9	山陰中央新聞	出雲・神西湖シジミ10年で58%減 外来稚貝繁殖漁獲制限し対応	内水面グループ
H22. 9.22	水産経済新聞	シジミ資源は低水準 島根・神西湖 水産技術センターまとめ	内水面グループ
H22.10. 7	山陰中央新聞	宍道湖8月下旬～9月シジミ死相次ぐ 局地的猛暑で貧酸素	内水面グループ

日付	新聞社・報道局等	内 容	担当部署
H22.10.27	山陰放送	H22 秋季ヤマトシジミ資源量調査について	内水面グループ
H22.10.28	中国新聞	中海でアサリ養殖試験	浅海グループ
H22.11.8	みなと新聞	マアジ、ブリ好調島根県9月漁況	海洋資源グループ
H22.11.17	山陰中央新聞	ピンク色のキアコウ浜田漁港に水揚げ	海洋資源グループ
H22.11.18	山陰中央新聞	マアジは前年以上が11～3月山陰沖漁況予想	海洋資源グループ
H22.11.22	山陰放送	高津川のアユを増やす取り組み（しまね情報どんぶり）	内水面グループ
H23.1.9	山陰中央新聞	昨秋のシジミ2/3に減	内水面グループ
H23.1.11	山陰中央新聞	島根県中海再生へ本腰	浅海グループ
H23.1.9	中国新聞	シジミ資源回復策探る	内水面グループ
H23.11.12	山陰放送	サルボウガイの稚貝放流	浅海グループ
H23.1.7	NHK	サワラの鮮度保持について	利用化学グループ
H23.2.1	朝日新聞	中海へ冬に味覚再び サルボウ稚貝放流着々	浅海グループ
H23.2.2	山陰中央新聞	江の川のアユ回復へ 島根広島一体活動を	海洋資源グループ
H23.2.12	山陰中央新聞	江の川アユ資源回復を 禁漁期・区域拡大へ	海洋資源グループ
H23.2.12	中国新聞	江の川天然アユ豊かに 三次で流域4漁協などシンポ	海洋資源グループ
H23.2.1	NHK	サルボウガイの種苗放流の取り組み	浅海グループ
H23.2.24	みなと新聞	3028トン、10億5419万円小型底曳網2010年漁期前半	海洋資源グループ
H23.2.28	全国内水面漁連 機関誌ぜんない	しまねのアユづくりについて ～高津川漁協はなぜ産卵保護を強化したのか～	海洋資源グループ
H23.3.1	みなと新聞	浜田基地沖底1725トンで過去最高	海洋資源グループ
H23.3.2	みなと新聞	2010年島根県漁獲12万トンで177億円	海洋資源グループ
H23.3.7	山陰中央新聞	昨年の漁業動向 漁獲量3%増12万1000トン	海洋資源グループ
H23.3.14	山陰中央新聞	アユ禁漁で江川漁協期間延長と区域拡大決定	海洋資源グループ
H23.3.14	中国新聞	アユの禁漁期間延長 江川漁協新年度から5年間	海洋資源グループ
H23.3.16	中国新聞	アユ回復へ県境連携美郷で意見交換会	海洋資源グループ

(3) その他情報提供一覧 (関係機関へ情報提供するとともにホームページで公開)

		漁業生産部・浅海グループ・栽培漁業グループ				内水面グループ			各部共通		
	トビウオ通信	トビウオ通信漁況速報	海況情報	とびくす	川っ湖通信	水産技術センター	事業年報	研究報告書			
内容	主要魚種の漁況予報、主要漁業の漁況のとりまとめ	県内主要漁業(まき網、イカ釣り、沖合底びき網、小型底びき網、定置網、釣り・縄)の漁獲統計・沿岸水温	試験船による海洋観測終了後、近隣海域の情報に加え、等温線図、年偏差図の作成	海洋における研究成果や話題性のあるテーマを掲載	河川・湖の研究成果や話題	巻頭言、新規研究課題の紹介、研究成果情報、話題、主要事業一覧	各研究課題の結果概要	事業遂行で得られた研究成果			
H22 4月	平成 22 年度上半期浮魚中長期漁況予報		○	NO.48 活けメ(いけしめ)による魚価向上!		第 5 号発行 (5月)					
5月	平成 22 年度第 1 回日本海スルメイカ漁況予報		○								
6月	平成 21 年漁期の底びき網漁業の動向		○								
7月	マアジ新規加入量調査結果速報										
8月	平成 22 年漁期のトビウオ類及び上半期のマアジ漁況	毎月発行	○		NO.4 平成 22 年度春季シジミ資源量調査結果						
9月			○		NO.5 平成 22 年度神西湖シジミ資源量調査結果						
10月			○								
11月	平成 22 年度下半期浮魚中長期漁況予報		○								
12月			○	NO.49 栽培漁業センターの種苗生産技術なと移転中							
H23 1月				NO.50 隠岐・西ノ島でスルメイカの自由販売	NO.6 平成 22 年度秋季シジミ資源量調査結果						
2月	平成 22 年漁期前半の底びき網漁業の動向 平成 22 年(2010 年)の高根原漁業の動向										
3月			○	NO.51 隠岐・西ノ島の浜にイカの大群がやってきました			平成 21 年度版発行 (3月)	研究報告 第 3 号発行 (3月)			